



奉仕を通じて
平和を

田中作次
2012-13年度
国際ロータリー会長

国際ロータリー第2800地区 1959年6月9日創立

鶴岡ロータリークラブ

例会場 東京第一ホテル鶴岡 例会日 毎週火曜日
(鶴岡市錦町 2-10) (12:30~13:30)

ホームページ◎<http://www.tsuruokarc.org/> Eメール◎tsuruoka08@rid2800.jp

本日(1/22)のメインプログラム

ゲストスピーチ
慶應義塾大学先端生命科学研究所 塩澤明子氏

次週(1/29)のメインプログラム

寒鰯汁家族例会

会長挨拶

阿部純次君

先週は、例会終了後 新春茶会を開催し、小林健郎会員とそのスタッフの方が点ててくれたお茶を多くの会員の皆様が堪能させていただきました。小林さんとスタッフの皆さん新春早々ありがとうございました。

1月は、ロータリー理解推進月間になっております。RIでは毎年1月をロータリー理解推進月間に指定しています。これは対外的には「広報活動を通じて」、対内的には「ロータリー情報集会、討論、セミナーを通じて」、ロータリーを推進するものであるとなっております。「会員にロータリーについて知識と理解を一層深めてもらい、同時にロータリアン以外の、一般市民にもロータリーのことをよく知ってもらうためのプログラムを実施する月間です」となっています。

また、1947(S22)年1月27日は、ロータリーの創始者・ポール・ハリスの命日です。1989(H元)年10~11月の理事会において、毎年この1月27日を含む1週間を、物故ロータリアンの冥福を祈り、生前の貢献を記念する週間として「追悼記念週間」と指定されました。

2005~2006年度の国際ロータリー会長・ステンハマー(スウェーデン)は、ロータリー理解月間について、①「私たちの組織について知ることが大切である」として、次のように述べています。会員自らが「ロータリーは平和と、人々との間の、より良い理解のために働く組織である」というロータリーの目標をよく認識していることが肝要です。また、年度の強調事項を知ることが大切ですよと言っており、識字率向上、ならびに、水保全・保健・飢餓救援、ポリオの撲滅、そして公共イメージ向上と、多岐にわたって取り組んでいます。

② ロータリアン以外の人と情報を共有することとして、次のように述べています。ロータリーを理解するためには、私たちの組織以外の人々と情報を共有する必要がある。

あります。ロータリーは、素晴らしいネットワークをもっている指導者たちのグループです。今こそ、私たちが長年にわたって達成してきたあらゆる善行を、世界中に知らせるときなのです。」と述べています。

そして、「ロータリアンたちは、世界問題にかかわる民間部門と同様、公共部門の間にも関心の輪を広げ、共同作業と地域社会を通じて、どう問題を解決するかという機会をつくるよう心がけるべきです。」とステンハマーは述べています。

また、1月のG月信で安孫子PGは、ロータリーの目的の本質は個人による奉仕の理想の実践(ロータリーは理論と実践の調和の世界)、そして心と心の通った純度の高い親睦が最も大事である(ロータリーは親睦と奉仕の調和の中に宿る)としています。

ロータリーを理解するためには、ステンハマー氏や安孫子PGが言うように、

- ①組織について知る
- ②ロータリアン以外の人と情報を共有するのは勿論として、とにかくロータリーのプログラム即ち「クラブの例会、奉仕活動、親睦活動を含めた行事に積極的に参加し、体験、実技を通してロータリーを日々理解して行くことが、第一義であると同時に、自主的参加意識が肝要なのではないかと思った次第です。

まずは、例会出席100%を目指していただき、例会で多様な情報を仕入れ、その情報を元に、ロータリー活動の実践そして仕事への応用も深めていきたいと考える次第です。

幹事報告

西川 富美子 君

ガバナー事務所

○米山奨学生歓送会開催のご案内(至急)

日時:2月2日(土) 登録受付10:30

会場:ホテルメトロポリタン山形 締切1/25

出席報告

会員数	41名
出席	27名
出席率	69.23%
前々回確定出席率	71.79%

RI会長 田中作次

地区ガバナー 和田 廣

■会長/阿部純次 ■副会長/丸山隆志 ■幹事/西川富美子 ■会長エレクト/嶺岸禮三
■会報委員会/橋本 至・嶺岸禮三・小林健郎・武田啓之

事務局:鶴岡市馬場町11-63 鶴岡産業会館3階 TEL (0235) 28-3375 FAX (0235) 28-3376

○年賀状 ジャンジブ氏・小林真紀
(元ロータリー国際奨学生)

年男スピーチ 目標を持って生きる

加藤一弘 君



昭和28年2月7日生まれで、間もなく60歳を迎えます。昨年鶴岡市から共生会という60歳以上の方が集まる会の案内を頂きました。赤いちゃんちゃんこを着てお祝いをする還暦。しかし最近では見なくなりました。赤色というのは赤ちゃんに戻る

とか、魔除けなどの意味があり、また昔は人生を終えるところですから、そういう意識をしながら暮らさなければいけないと思っています。

私は今三川に住んでいます。生まれた所は榎本市長の実家の近く、田川の30軒足らずの集落にあるお寺です。雪の多いところで毎日雪を踏みならしていた記憶があります。

新年を家族そろって迎えられました。有難いことでした。しかし二日の日に妻が熱を出して寝込んでしまい、若い人たちはそれぞれ関東の実家に帰って、広い庫裡に二人だけ。いいところを見せようとお粥をつくったり洗濯をしたりしました。普段自分のやらない、知らない世界だったので新年早々妻の有難さを実感しました。

その有難いと感じた中にひとつ気づいたことがあります。私のしたことは100の中の10にも満たないものですが、こちらで何かをして頂こうとした場合には100のうち10だとストレスが溜まってきます。日頃あれやれ、これやれと言っている自分に気づきました。三日間妻に寝込まれたために自分にとってはいい勉強になったと思いました。

還暦を過ぎると体力が衰えていくということで、今一日1万歩～1万2千歩程歩いています。これからも若い人やいろんな方々の手助けができるよう頑張っています。今の世の中指先ひとつ、ボタン一つで叶います。私は常々檀家さんに目標を持ちなさいと言っています。自分から何かをしなければ衰退していきます、技術もなくなっていくと言っている手前、何かをしようという気持ちでいっぱいです。世の中にはわかっているようでわからないことがたくさんあります。例えば檀家制度って何かと訊ねてもなかなか答えがかえってきません。先祖がお寺の所属であったからかなあということなのですが、私が檀家さんから問われれば、所属しているがために、ほかの人たちよりもお寺の内容を伝えてほかのお寺さんよりもいろんなことを提供してあげよう、その中から檀家さんがチョイスできるようにいろんなことに取り組んでいこうと考えています。節目の歳になりこれからも元気で何かを残していけたらいいなと思っていますので今後ともよろしくお願いいたします。

年男スピーチ

楽しみは、一番最後に！ 齊藤 善信 君



こんにちは。私も28年生まれです。高校の修学旅行が大阪万博でした。その後オイルショックがあり、大学出ても就職できない就職難の時代がしばらく続きました。そのうち馬鹿でかい携帯電話が出てバブル期に入っていました。その当時山形にいて、バブルという感覚はありませんでしたが、私は享受できたと思っています。私の娘は作文で「私のお父さんの仕事はお酒のみです。」と書き、私はその通りと言っていました。そのうちバブルがはじける平成の世になりました。20年勤めた会社を辞め、平成2年に会社を興し現在に至っています。自分で仕事を始めてある程度恰好がついたときに、せっかく生まれてきたんだから自分の行ってみたいところに行ってみようを思いました。オーストラリアを皮切りに17、8ヶ国にはいきました。根が我儘ですからツアーではなく全て個人旅行です。トラブルとエピソードだらけで海外旅行をしています。

そのうち国内で行ってないところはあったかなと思いました。結構ありました。今度は国内を回ることになりました。昭和で一番重大な出来事は何か、自分は当事者ではなかったけれど第二次大戦だ。国内を回るのがこのことを考えながら全国制覇をしようと思いました。霞ヶ浦、広島江田島、長崎、鹿児島知覧、沖縄それぞれ回って、今でも年一回はそのどこかに行くようにしています。沖縄には数えられないくらい行っております。日本国内はほとんど一人で回っています。夜の有名な賑やかな場所も回りました。現在行っていない県は、1県だけです。それは高知県です。坂本竜馬と中岡慎太郎のファンですので、ここはとっておいてもう少し世の中がわかってから行こうかなと思っています。諸先輩の中で推薦頂ける場所がありましたら是非ご教示頂ければ、即、参りますのでよろしく願いいたします。

委員会報告

◆出席委員会

◎メイクされた方

阿部純次・阿蘇司朗・藤川享胤・佐藤孝子

◎皆出席

14年…本間喜美子・17年…嶺岸禮三

スマイル ☺

阿部純次君 1/8(火)の新春茶会では調子に乗り三杯もおかわりさせていただきました。小林会員おいしいお茶ありがとうございました。

加藤 亨君 鰯汁例会への多くの参加とお客様も来られるので、二次会も宜しくお願いします。